

模擬選挙を行いました。

令和7年11月11日(火)に、社会科の学習の一環として本校体育館で選挙(模擬選挙)を実施しました。

これは、長崎県知事選挙を想定し、3学年の学習グループから4名の立候補者を出し、模擬投票を行うことを通して、選挙に関する関心を高め、投票の方法を理解するのが目的です。

これまで3年生は、グループ別で長崎県の強みや課題を学習した上で、公約づくりに取り組み、模擬選挙を迎えました。

模擬選挙当日は2年生も有権者役として参加し、選挙に関する大まかな流れやルール、立候補者の演説をよく聞いて投票することなどの説明があった後、選挙に関する映像資料を視聴しました。

その後、候補者4人の演説を聞き、諫早市選挙管理委員会から借用した本物の記載台や投票箱を使って、本番さながらに投票し、投票の結果、「子育てしやすい長崎県」「働きやすい長崎県」「ながさきうみやまプロジェクト(漁業や農業の振興)」を訴えた候補が当選しました。

これらの活動を通して、18歳になったら有権者になり、社会に責任をもつ立場になることを理解することができました。

四候補者の立会演説シーン。各候補者とも、県知事になったら取り組む政策(公約)を熱心に説いた。



左：資料を見ながら熱心に選挙の説明を聞く生徒。
下左：投票する生徒。：下右：投票前受付をする生徒。
下左：投票箱に投票する生徒。この一票が社会を変える。

